

経済・金融 フラッシュ

中国経済：6月の製造業PMI

～0.7%ポイントの大幅低下となり、新規輸出受注は
3ヵ月連続で50%を下回り、将来に対する楽観的
な見方も後退

経済研究部 上席研究員 三尾 幸吉郎

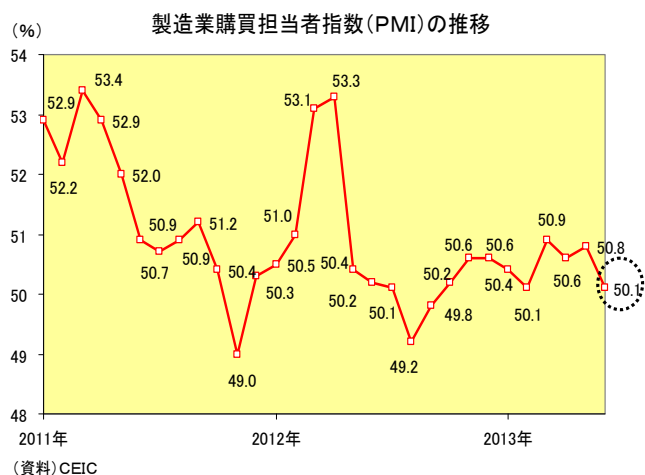
TEL:03-3512-1834 E-mail: mio@nli-research.co.jp

- 6月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）は50.1%と、5月の50.8%から0.7%ポイント低下した。但し、経済拡張・収縮の分岐点となる50%は9ヵ月連続で上回った。
- 6月に0.7%ポイント低下した要因を見ると、比重30%の新規受注指数が0.4%ポイント、比重25%の生産指数が0.3%ポイントそれぞれマイナス寄与し、今回の低下の主因となった。
- 輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数は47.7%と、前回の49.4%よりも1.7%ポイント低下して50%を3ヵ月連続で下回り、輸出の先行きに対する不安が再浮上した。
- また、今後3ヵ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す生産経営活動予想指数は54.1%と、今年3月の65.5%をピークに3ヵ月連続で低下、将来に対する楽観的な見方も後退した。

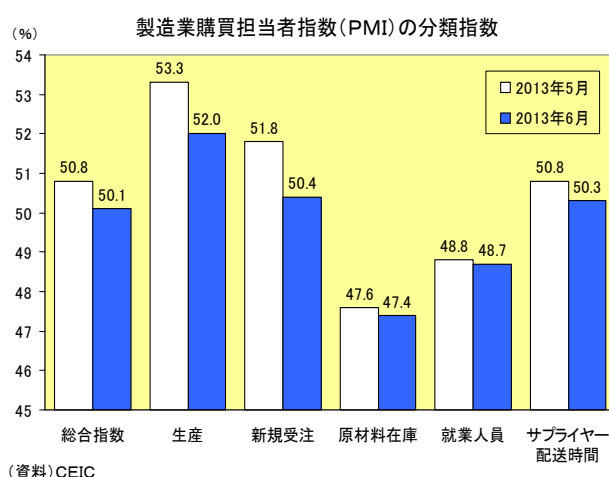
【 総合指数は0.7%ポイントの大幅低下 】

中国では7月1日（月）に、中国物流購買連合会と国家统计局サービス業調査センターが6月の製造業購買担当者指数（PMI、季節調整済）を発表した。それによると、6月の総合指数は50.1%と、5月の50.8%から0.7%ポイントの大幅低下となった。但し、経済拡張・収縮の分岐点となる50%は何とか維持し、9ヵ月連続で上回った（図表-1）。

（図表-1）



（図表-2）

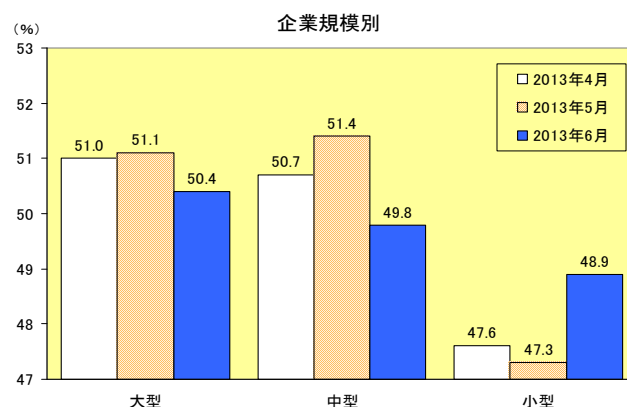


分類指数を見ると（図表-2）、生産指数は前回の 53.3%から 52.0%へ 1.3%ポイント低下、新規受注指数は前回の 51.8%から 50.4%へ 1.4%ポイント低下、原材料在庫指数は前回の 47.6%から 47.4%へ 0.2%ポイント低下、就業人員指数は前回の 48.8%から 48.7%へ 0.1%ポイント低下、サプライヤー配送時間指数（逆指数）は前回の 50.8%から 50.3%へ 0.5%ポイント低下（改善）した。従って、0.7%ポイント低下した要因は主に、30%の比重を持つ新規受注指数が 0.4%ポイント、25%の比重を持つ生産指数が 0.3%ポイント、それぞれマイナス寄与したことによるものである。

【 中型企業も 50%割れ 】

企業規模別に見ると（図表-3）、大型企業は前回の 51.1%から 50.4%へ 0.7%ポイント低下したものの、10 ヶ月連続で 50%を上回っている。また、中型企業は前回の 51.4%から 49.8%へ 1.6%ポイント低下して、4 ヶ月ぶりに 50%を下回り、小型企業は前回の 47.3%から 48.9%へ 1.6%ポイント上昇したものの 15 ヶ月連続で 50%を下回る状況が続いている。従って、大型企業は底堅いものの、小型企業の悪化が徐々に中型企業や大型企業に波及し始める懸念が浮上したといえるだろう。

（図表-3）



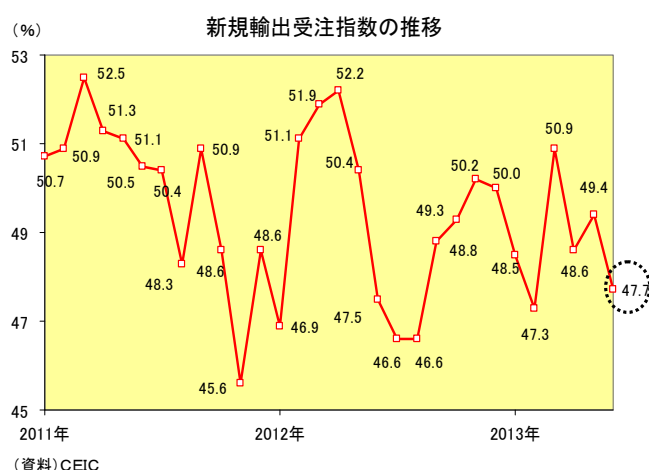
（資料）CEIC

【 新規輸出受注は 3 ヶ月連続で 50%を下回り、将来に対する楽観的な見方も後退 】

その他の指数を見ると、輸出の先行指標として注目される新規輸出受注指数は 47.7%と、前回の 49.4%よりも 1.7%ポイントの大幅低下となるとともに、50%を 3 ヶ月連続で下回った。

また、今後 3 ヶ月以内の生産経営活動に対する楽観度を示す生産経営活動予想指数は 54.1%と、前回の 56.3%から 2.2%ポイント低下、依然として 50%超は続いているものの、今年 3 月の 65.5%をピークに 3 ヶ月連続で低下しており、ピークと比した低下幅も 11.4%ポイントと大幅で、将来の生産経営活動に対する楽観的な見方は徐々に後退してきている。

（図表-4）



（資料）CEIC